

報道関係者各位
プレスリリース



2016年09月26日

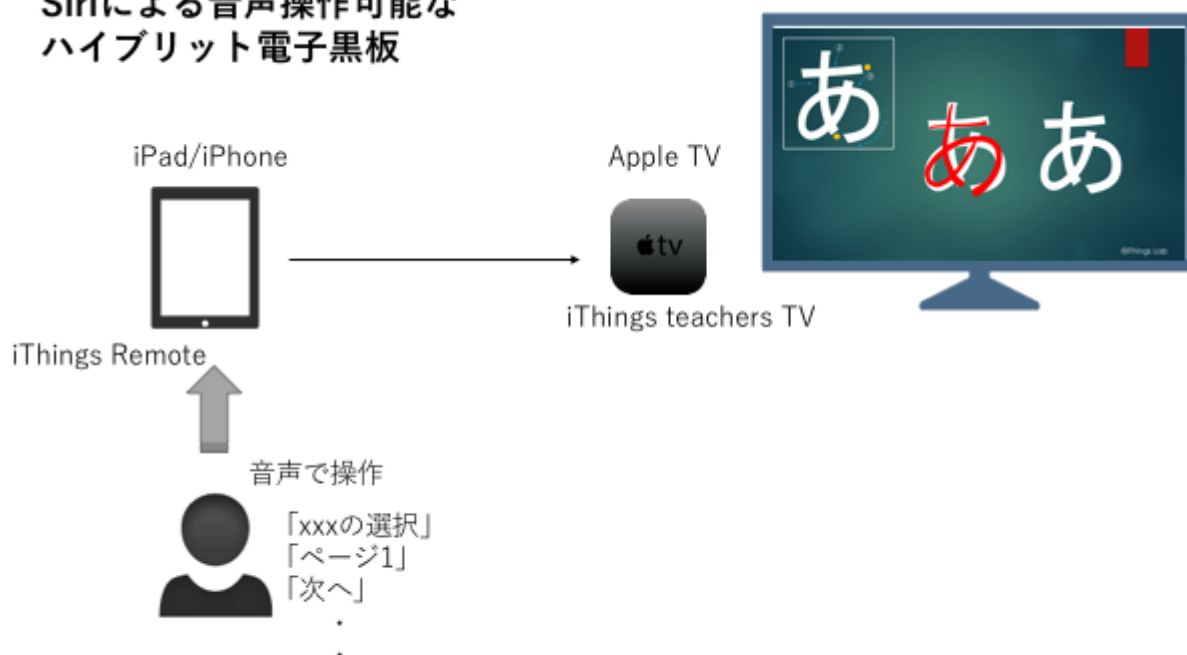
株式会社 iThings 研究所

Apple TV で動作する新しいタイプの電子黒板アプリに Siri の音声操作が可能な新バージョン 無償提供開始

～生徒に背を向けず常に向い合って授業ができる～

株式会社 iThings 研究所(本社：東京都江東区、代表取締役社長：松岡 秀紀)は、Apple 社が提供する最新 Apple TV で動作する新しいタイプのハイブリット電子黒板アプリ「iThings teachers TV/iThings Remote」の新バージョン 1.1.0 を開発し、2016年9月26日(月)より無償で提供を開始いたしました。

Siriによる音声操作可能な ハイブリット電子黒板



利用イメージ

Web サイト：<http://www.ithings-lab.co.jp/ithingstv>

【従来の電子黒板を超えた性能】

従来の電子黒板は、専用の機器とマウスやタッチなどの操作が必要でしたが、iThings teachers TV は、Apple TV に App Store からアプリをダウンロードするだけで、すべての機能が無償で利用でき、Apple TV に付属の Siri リモコンで操作が可能です。さらには、iPad/iPhone で動作する iThings Remote を使用することにより、Siri を使った音声でコントロールすることができます。

これにより、先生は音声で電子黒板をコントロールでき、特別な操作なしに ICT を使用することが可能となります。

さらには、iPad/iPhone の iThings Remote と Apple TV 第 3 世代でもハイブリット電子黒板アプリが動作可能となったため、より多くの環境で利用できるようになります。

今後は、利用されるユーザの声を速やかに反映して、より使いやすい新しいタイプの電子黒板アプリとして成長させていく計画です。

【iThings teachers TV/iThings Remote の特長】

●新機能<iOS 10 では Siri の音声操作をサポート>

iThings teachers TV と iThings Remote を合わせて使用することで、先生(講師)は音声で教材のページの移動やコントロールを行うことが可能となりました。より授業に集中して操作することができます。

●新機能<iThings Remote+ Apple TV 第 3 世代のサポート>

iThings Remote 1.1.0 では、iPad/iPhone と Apple TV 第 3 世代と組み合わせても使用可能に拡張されました。Apple TV へ表示されるのは、教材のみで手元資料などは、Apple TV 側には表示されません。

Apple TV 第 3 世代のサポートにより、現在利用されている多くの環境で使用可能になりました。

ただし、Apple TV 第 3 世代は表示ディスプレイとしてのみ利用可能でリモコンで教材のコントロール操作することはできません。

●新機能<iOS 10/tvOS 10 に完全に対応>

iOS 10/tvOS 10 への迅速に対応することにより、より使いやすいハイブリット電子黒板を提供することが可能となりました。

●新機能＜教材へのメモの保管＞

iThings Remote 1.1.0では、教材に予めメモを記載して保管することができます。教材をApple TVで表示する場合には、教材と予め保管されているメモも合わせて表示されます。オリジナルの教材に加えて、要点解説など付け加えて教材を使用することが可能となりました。

＜無償ですべての機能が利用可能＞

iThings teachers TV/iThings Remoteは使用許諾に指定された範囲内で、すべての機能が無償でご利用いただけます。各ソフトウェアは、無償ですが広告表示などありません。

＜Apple TVだけで利用可能な電子黒板＞

iThings teachers TVはApple TVだけで利用可能な新しいハイブリット電子黒板ツールです。

- ・使用する教材は、Windows/Mac/iPad/iPhone/Androidから簡単に登録できます。
- ・教材は、Apple社が提供するiCloudに保管されるためアカウント単位で安全に保管できます。
- ・Siriリモコンを使用して操作することができます。

＜iPad/iPhoneでリモート操作＞

iThings teachers TVとiThings Remoteを合わせて使用することで、教材を表示しながら、リアルタイムに注釈を書き込むなどの操作ができます。

黒板(ホワイトボード)に書き込むときには、生徒(受講生)に背を向けなければなりませんでしたが、手元の教材に書き込むことにより、常に、生徒(受講生)に向かって話しながら進めることができます。

＜Apple iCloud対応＞

iThings teachers TV/iThings Remoteは、Apple社が提供するiCloudに完全に統合することができます。したがって、教材の保管および管理は、Apple ID単位で行うことができます。

＜Apple Pencil対応＞

iThings Remoteでは、Apple Pencilを標準でサポートしています。

単純に、表示されている教材に注釈を書き込むことができるだけでなく、筆圧にも対応しているため、文字の太さで重要度を強調することなどが可能です。

<ワコム Fineline 2 対応>

iThings Remote では、ワコム社の Fineline 2 を標準でサポートしています。単純に、表示されている教材に注釈を書き込むことができるだけでなく、筆圧にも対応しているため、文字の太さで重要度を強調することなどが可能です。

<先生(講師)の手元資料参照>

先生(講師)だけが参照可能な関連資料を事前に登録しておくことができます。教材登録時にレクチャーガイドなどを関連ファイルとして登録しておくこと、iThings Remote で参照することができます。関連ファイルは、iThings teachers TV に投影されないため、初めて行う授業(講義、説明)でも、適切な場所で効果的な解説や説明を行うことができます。

<書画カメラは iPhone/iPad でサポート>

iThings Remote では、書画カメラ機能を提供しています。生徒に見せながら説明したい物や別資料のページをカメラ機能で撮影し、Apple TV に表示できます。撮影された写真は iPad/iPhone に保管されることなく、Apple TV に表示されます。

<クラウドサービスを完全にサポート>

iThings Remote は、iCloud Drive、Dropbox、Google ドライブ、OneDrive に保管されている教材を登録することができます。

<他のアプリとの連携>

iThings Remote は、Keynote、PowerPoint、Word、Excel などの他のアプリから教材をそのまま登録することができます。また、写真アプリなどからも直接登録することができます。

【iThings teachers TV/iThings Remote の動作環境】

<iThings teachers TV (Apple TV)>

Apple TV : Apple TV 第 4 世代以上

OS : tvOS 10 推奨 tvOS 9.2 以上

<iThings Remote (iPad/iPhone)>

iPad/iPhone : iPad Air 2/iPad Pro/iPhone 6/iPhone 6s/

iPhone 6 Plus/iPhone 6s Plus/iPhone 7/iPhone 7 Plus

OS : iOS 10 推奨 iOS 9.0 以上
その他 : Apple Pencil/ワコム Fineline 2
必要により Apple TV 第 3 世代または HDMI ケーブルなど
外部ディスプレイ

* 文章に記載の製品名などは各社の登録商標です。

【株式会社 iThings 研究所とは】

2016 年 1 月に設立、「人と internet/IT をつなぐをサポートする」をテーマに IT の新しいイノベーションチャレンジを行っております。教育 ICT における新しいイノベーションのきっかけになればと、ハイブリット電子黒板アプリを無償で提供を開始しました。

商号 : 株式会社 iThings 研究所
所在地 : 〒135-0064 東京都江東区青海 2 丁目 7-4 1027
代表者 : 代表取締役社長 松岡 秀紀
設立 : 2016 年 1 月 22 日
URL : <http://www.ithings-lab.co.jp/>